

白川東報

発行所 岐阜県加茂郡白川村公民館
印刷所 今井印刷

40年度予算 総額 一億九百九十八万八千円

健全財政をさらに前進!!

昭和四十年年度の一般会計及び特別会計の予算がきまりました。一年間の豊かな村づくりの基となる歳入歳出予算をはじめ、これに関連する条例等十七の議案が去る三月十二日招集された会期五日間の第一回定例会議に上提され、慎重な審議がなされた結果、いずれも原案どおり可決承認されました。この当初予算は、一般会計で五七、八三三、〇〇〇円、特別会計五二、一五〇、〇〇〇千円、総額一億九百九十八万八千円にのぼる当初予算が成立しました。予算編成で特に目立つところは、年々物価の急上昇にもかかわらず、一般会計で三十九年度の当初予算に比べ、二百十六万二千円の減額が図られた点といえます。



(河田村長)

予算成立と基本方針

東白川村長 河田 勘市

昭和四十年年度一般会計特別会計予算並に之に関連する諸案件につき、三月十二日議会を招集し会期五日間上程致しました予算総額一億九百九十八万八千円と諸議案、十六日全部議了成立を見ました。

その予算規模は
 ○一般会計 五七、八三三、〇〇〇円
 ○特別会計 一七、九〇〇、〇〇〇円
 東白川村立東白川病院会計 三三、八〇〇、〇〇〇千円

分収造林会計四五〇千円となっており、一般会計予算につきましては、これを前年度当初予算と比較致し、二百十六万二千円を減額いたしております。予算編成に当つては、健全財政確立を図るため努め

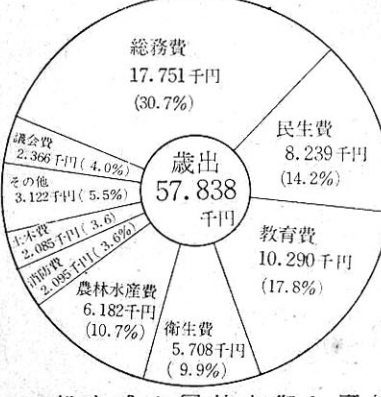
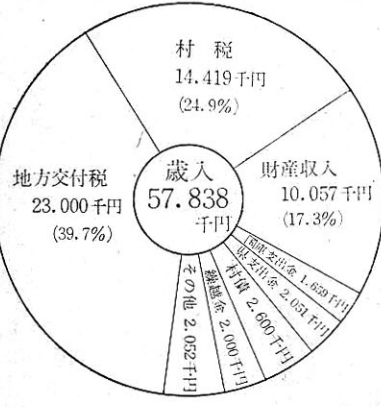
て冗費の節減を図り、入るを計つて出するを制するたのであります。そこでその収入面は、迎年経済の高度成長の過程にあるも、農村に於ける税収入の伸びは期待出来ず、村民税は一九〇万円に過ぎず固定資産税、軽自動車税、電気ガス税、煙草消費税、木材引取税合せて村税総額一四、四一九千円を、国から交付される地方交付税二二、〇〇〇千円を見込み村債二、六〇〇千円、それに一〇、〇五七千円の財産収入とその他合算して、一般会計五七、八三三、〇〇〇千円といたしました。財産収入一千万円は村有林生産素材を引当てにしましたが、前年度より九百万円を減じ極力伐採の抑制に努めることに致しました。

又木材引取税は百七十五万円を見込計上しましたが大きな自主財源ですので、納税者各位の絶大なるご協力をお願いするものであります。以上の財源による緊縮財政によつて、昭和四十年年度の村政と取組むことに致しました。財政膨張の一因をなす給与改訂による給与費の増高については特に慎重を期し、又一般経常費の増加も必然的であります。極力之を抑え、特に役場費の節減に努め、健全財政を堅持し、出来得る限り村民皆さんの期待にこたへるべく努力した次第でございます。

健康にして豊かな村造りは本村の目標であり、健康を護るための諸施策に万全を期し、保健行政の推進に努めます。環境衛生、公衆衛生の推進は漸く軌道に乗つて参りましたが、麻痺状態になつて参るものでもありません。保健村に恥じないよう皆様方の新たなる自覚と認識を望んで止みません。農業振興については従来の方針を採り、稲養蚕畜産茶の四本の柱を主軸として、農協指導部の積極的活動と相俟つてその実績を挙げんとするものであります。自主財源としての木材引取税は納税者各位のご協力に期待し、之が還元の方途を講じ、森林組合の活動助成と共に、新しく道路補修費

の計上と、民間分収造林振興の増額は、新しい林業振興の方向を示すものであります。教育費は年々増加の一途をたどり、特に中学校整備拡充費は三ヶ年間で約三千万円を投じて一応完了したものと云えます。然しながら施設のみによつて決して教育効果は挙るとはいえませんが、要は人の問題であります。新しい日本の地位を築くため、学校教育と共に将来への担い手は若い世代の青少年に期待する所多く、智徳一体の人間形成、青年学級、婦人学級、成人学級等社会教育の振興を図るなど教育による人造りの分野は重大なることは申上げるまでもありません。本村における公私経済の支柱は山林であり、村の建設は村有林収入によつて賄われており、誠に先輩諸氏に深い感謝を捧げるものであります。伐採跡地は全部植栽し、公経済後顧の憂いなきを期しておりますので御安心願いたいと存じます。分収造林と成人の山は全国でも珍らしいケースでもあり特に成人の山は十年目本年度は今井悦次郎氏寄贈山林を第二成人の山と定め

昭和40年度東白川村歳入歳出予算 (一般会計)



(裏面へつづく)

特別会計予算

(国民健康保険会計)

歳出		金額(千円)
1 総務費		1,391
	1 総務管理費	1,335
	2 徴収費	41
	3 運営協議会費	15
2 保険給付費		16,489
	1 療養諸費	16,227
	2 助産諸費	120
	3 葬祭諸費	70
	4 育児諸費	72
3 保険施設費		10
	1 保険施設費	10
4 子備費		10
	1 子備費	10
歳出合計		17,900

歳入		金額(千円)
1 国民健康保険料		5,045
	1 国民健康保険料	5,045
2 国庫支出金		12,843
	1 国庫負担金	8,571
	2 国庫補助金	4,272
3 財産収入		10
	1 財産運用収入	10
4 諸収入		2
	1 延滞金	1
	2 雑入	1
歳入合計		17,900

歳出		金額(千円)
1 総務費		15,256
	1 施設費	13,700
	3 研究研修費	1,478
	2 運営協議会費	78
2 医療費		17,569
	1 医療費	14,997
	2 給食費	2,572
3 施設整備費		290
	1 施設整備費	290
4 公債費		500
	1 公債費	500
5 子備費		185
	1 子備費	185
歳出合計		33,800

歳入		金額(千円)
1 診療収入		31,715
	1 入院収入	13,387
	2 外来収入	17,511
	3 その他の検査収入	5
	4 使用料及び手数料	812
2 財産収入		12
	1 財産売払代	12
3 繰入金		2,000
	1 他会計繰入金	2,000
4 繰越金		40
	1 繰越金	40
5 諸収入		33
	1 預金利息	10
	2 雑入	23
歳入合計		33,800

(分取造林会計)

歳出		金額(千円)
1 総務費		425
	1 総務管理費	25
	2 造林費	400
2 子備費		25
	1 子備費	25
歳出合計		450

歳入		金額(千円)
1 繰入金		400
	1 繰入金	400
2 繰越金		50
	1 繰越金	50
歳入合計		450

(一頁よりつづき)
五月三日記念植樹を行いました。成人と共にすくすくと成長することが一つの楽しみでもありますが。又大正十二年の契約による官行造林は名古屋営林局の深い理解によつて伐期齢を短縮し之を伐採その処分収益で、東白川病院建設資金に充当した次第であります。
その他各般に互つて限られた財源を以て、所謂キメの細い村政に反映させるこ

とは頗る困難であります。新しい計画としての移動役場は、村民皆さんの声を聴き之を村政面に活かし、最少の経費で最大の効果を挙げるべく努力致したいと存じます。
国保会計につきましては国の補助金は年々増額したとはいへ、一月より被保険者全員七割給付の実施に伴い、保険料一世帯当千円を増額予算編成しました。
東白川村立東白川病院特

別会計予算の総額三三、八〇〇千円でありますが、新計画につき、分取造林増反は一時中断し、専ら撫育管に当ることに致した次第でございます。
以上昭和四十年年度予算概算の執行に当りましては、正を旨とし、よりよき村造りに努力せねばならないことを信じ、御報告と致します。

第十回中部九県植林コンクールにおいて本村が第一優れた林業振興の実績をもつ団体に参加し、本村も昨年十一月このコンクールに参加、このほどの受賞となつた。このほか、県が行なう民間の有林保育コンクールにも参加し、公有林の部で特選に決まり、国土緑化推進委員会の後援で、県山林協会から表彰さ

第十回中部九県植林コンクール△ 林野庁長官賞を受賞

第十回中部九県植林コンクールにおいて本村が第一優れた林業振興の実績をもつ団体に参加し、本村も昨年十一月このコンクールに参加、このほどの受賞となつた。このほか、県が行なう民間の有林保育コンクールにも参加し、公有林の部で特選に決まり、国土緑化推進委員会の後援で、県山林協会から表彰された。

これらの入賞対象となつたのは、全国でも初めての分取造林条例の設定、「成人の山」の設置等により村民に強い山林緑化思想の普及と実践が他にみられない特長としてとり上げられたこと。また河田村長が自ら編集した「東白川村有林の沿革」等の詳しい記録によつて示されている先輩たちの古い時代からの造林事業の実績が受賞の大きな比重となつたわけだ。

恒例の入退団式終る 東白川村消防団

恒例の東白川消防団入退団式が、去る三月二十八日午前九時から神土小学校々庭に集多数を迎え、盛大に挙行され、退団者二十一名、新入団者九名が送迎されました。

▲第三分団 桂川治彦、安江守夫、今井健吾、安江定好、田口和明、牧野吉貴
▲第四分団 安江英樹
▲新入団者
▲本部 高木 孜
▲第二分団 熊崎次男、栗本勝也、今井福二
▲第三分団 大坪兼敏、菊田紋寿、安江進吾、安江清、安江恒男

なお、永年勤続の退団者十八名に村長から感謝状が贈呈されました。

◎永年勤続感謝状
▲本部 今井哲
▲第一分団 安江重利、西野正誠、安江光利
▲第二分団 今井真澄、安江貢、今井勝、田口光男、今井隆次、桂川隆一郎、今井福夫

これだけは是非知っておきたい
完納で明るい
わが家わが部落

財政事情に関する公表

財政事情に関する公表

地方自治法第243条の3の規定により昭和38年度決算並びに昭和39年4月1日から同年12月31日までの本村の財政事情を次のとおり報告する。

昭和40年2月1日

加茂郡東白川村長 河田 勘 市

地方自治法と村条例の規定によつて村の財政事情を公表します。
今度の公表は昭和三十八年度の決算状況と昭和三十九年度の四月から十二月までの概況を示すものです。
昭和三十八年度の決算については去る二月九日の臨時村議会で認定され、一般会計では昭和三十七年度決算額に比較して歳入歳出それぞれ三千万円程の増加となつております。
昭和三十九年度の十二月末日までの収入支出の概況保管金の状況、財産及び公債の現在高等は次のとおりです。

第1 収入の概況

(一般会計)

科 目	昭和38年度 決算額	科 目	昭和39年度 4月～12月
村 税	13,735,923	村 税	11,030,629
地方交付税	23,000,000	地方交付税	25,027,000
公営企業及び財産収入	24,333,565	分担金及び負担金	529,530
分担金及び負担金	223,780	使用料及び手数料	456,280
使用料及び手数料	666,564	国庫支出金	708,343
国庫支出金	3,846,291	県支出金	1,702,797
県支出金	2,999,633	財産収入	15,830,055
寄附金	1,701,000	寄附金	100,000
雑収入	9,734,780	繰入金	103,673
村債	7,400,000	繰越入金	3,764,215
繰越金	4,840,894	繰越取	418,167
		村一時借入金	300,000
計	92,482,430	計	61,970,689

(分収造林費会計)

科 目	昭和38年度 決算額	科 目	昭和39年度 4月～12月
県支出金	73,250	県支出金	179,600
繰入金	400,000	繰入金	360,000
繰越金	66,073	繰越金	84,211
雑収入	150,000	一般会計仮繰入	31,615
計	689,323	計	655,426

(公益質舗会計)

科 目	昭和38年度 決算額	科 目	昭和39年度 4月～12月
繰入金	103,673		
計	103,673	(昭和39年3月31日会計閉鎖)	

第2 支出の概況

(一般会計)

科 目	昭和38年度 決算額	科 目	昭和39年度 4月～12月
議会費	1,656,631	議会費	1,548,729
役場費	13,826,054	総務費	17,798,892
消防費	3,840,337	民生費	11,608,925
土木費	1,297,042	衛生費	1,925,025
教育費	33,842,972	農林費	3,700,482
社労費	7,760,678	商工費	267,204
保健費	1,632,046	土木費	1,668,088
産経費	10,958,735	消防費	2,061,410
財産費	8,680,445	教育費	12,354,103
統計費	53,640	災害費	111,800
選挙費	385,336	公債費	681,939
公債費	762,093	諸支出金	220,000
諸支出金	4,022,206	計	53,946,597
計	88,718,215		

国民健康保険(事業勘定)会計

科 目	昭和38年度 決算額	科 目	昭和39年度 4月～12月
保険料	2,926,165	保険料	3,114,100
財産収入	6,433	国庫支出金	48834,000
国庫支出金	7,422,870	財産収入	5,076
寄附金	63,440	寄附金	64,680
繰入金	2,330,930	繰入金	157,650
繰越金	353,142	繰越金	306,840
計	13,102,980	諸取入	131,424
		計	8,640,770

国民健康保険(施設勘定)会計

科 目	昭和38年度 決算額	科 目	昭和39年度 4月～12月
診療収入	14,568,994	診療収入	18,161,854
一部負担金	7,380,304	諸取入	14,825
使用料及び手数料	27,091	繰入金	7,950,000
繰入金	709,993	繰越金	575,096
雑収入	284,495	一時借入金	5,000,000
繰越金	170,407	一般会計仮繰入	7,540,860
計	23,141,284	計	39,242,635

なお収支差引現在高の保管状況は次のとおりである。

東白川農業協同組合	594,855円
大垣共立銀行白川口支店	226,342
十六銀行太田支店	88,442
東白川郵便局	67,173
公金振替貯金	72,772
普通振替貯金	7,895
現金(収入役保管)	397,106
計	1,454,585

(上記保管金に雑部金 704,929円、県税95,733円を含む)

国民健康保険(事業勘定)会計

科 目	昭和38年度 決算額	科 目	昭和39年度 4月～12月
役場費	1,084,435	総務費	1,100,875
保険給付費	11,567,299	保険給付費	7,313,889
保険施設費	26,640	保険施設費	23,700
諸支出金	28,766	計	8,438,464
財産費	89,000		
計	12,796,140		

国民健康保険(施設勘定)会計

科 目	昭和38年度 決算額	科 目	昭和39年度 4月～12月
施設費	9,886,413	総務費	9,515,561
医療費	10,513,900	医療費	11,274,363
給食費	2,165,875	施設整備費	18,452,711
計	22,566,188	計	39,242,635

(分収造林費会計)

科 目	昭和38年度 決 算 額	科 目	昭和39年度 4月～12月
分 収 造 林 費	円 605,112	総 務 費	円 655,426
計	605,112	計	655,426

(公益費補助会計)

科 目	昭和38年度 決 算 額	科 目	昭和39年度 4月～12月
積 立 金	円 103,673		
計	103,673		

第3 村民負担の状況

区 分	昭和38年度 4月～12月	昭和38年度 決 算 額	課税対象	平 均
村 民 税	円 1,490,403	円 2,259,881	人 1,389	円 1,627
固 定 資 産 税	5,576,075	6,659,245	1,124	5,925
軽自動車税	724,880	644,735		
たばこ消費税	1,653,210	1,888,440		
電気ガス税	597,013	951,954		
木材引取税	980,408	1,322,968		
入 湯 税	8,640	8,700		
国民健康保険料	3,141,100	2,926,165	世帯 748	3,912

第4 公営事業經理の概況

なし

第5 財産現在高 (昭和39年12月31日現在)

区 分	建 物	土 地	立 木	地上権	基 金
行政財産公用財産	m ² 519	m ² 2,007	m ³	m ²	円
行政財産公共用財産	10,380	35,000	(見込)		
普通財産	2,501	3,744,000	27,800	277,200	
基 金					2,252,327

第6 公債現在高 (昭和39年12月31日現在)

区 分	借入 年度	借入金額	未償還額
診療所歯科診療棟及び病棟建築費村債	27	円 700,000	円 50,030
公共土木施設災害復旧工事費村債	27	300,000	21,441
土木農業施設災害復旧事業費村債	28	400,000	56,259
診療所施設事業費(自動車購入)村債	29	300,000	81,819
6.3制整備中学校整備費村債	29	800,000	536,698
公有林整備事業費村債	37	1,000,000	1,000,000
義務教育施設整備事業費村債	37	1,500,000	1,479,300
〃	38	4,500,000	4,500,000
公有林整備事業費村債	38	1,900,000	1,900,000
厚生福祉施設事業費村債	38	1,000,000	1,000,000
昭和39年度市町村民税臨時減税補てん債	39	300,000	300,000
公有林整備事業費村債	39	2,100,000	2,100,000
病院施設事業費村債	39	10,000,000	10,000,000
計		24,800,000	23,025,547

第7 財政の動向及び財務方針

経済情勢の急激な変転とともに財政需要において諸経費の増高は何れもまぬがれ得ない実情であって、予算については健全財政を基本方針として冗費の節減を図り専ら村民福祉の増進と産業の振興、教育の向上に重点をおき、入るを計って出ざるを制するの経済原則に副って編成し執行に当っては厳正にして慎重を期しているところである。加うるに公経済は財政運営如何によって直接住民の福祉に影響をもたらすことが大であるから常に健全財政確立に意を用いもって本村自治の発展を図らんとするところである。

実を結んだ「愛の定期便」

熊崎さんの寄金で

一昨年七月十六日「僅か」定期便と名づけて今日までのお金ではずかしいのです。このほど二十三回目の送金が届き、その額も四千六百円となつたのを機会に、熊崎さんが東白川中学校に届けられてから三ヶ月目に、送金の主が東中卒業生で熊崎秋枝さん(下野出身)といふことが判り(広報第七三号で紹介)以後毎月決まつたように送金が続けられました。

熊崎さんはいま半田市に

ある紡績会社に勤めており東白川中学を卒業すると同時に今の会社に入社してもう九年目、「長く郷里を離れているが、やはり母校やお世話になつた恩師が忘れられず、自分が成人として今あるのも郷里のよい環境で教育されたお蔭で、この喜びに報いられるのは後輩のみなさんに学習し易い環境を造つてやることです。私のさゝやかな気が母校のみなさんにこんな喜びをばれうれしく思います。これから母校の弟妹たちを感激させておきます。」と語り

去る三月十日、越原下区老人クラブ「長寿会」会長安江房吉さんから河田村長に「益々御健康で村政発展に日夜御活躍をお慶び申し上げます」といふ手紙に、最近安江さんが詠まれたうたを添え、「長寿会」員の話し合ひで決めた近況報告を寄せられました。

「長寿会」活躍

近況を紹介—
—近況を—
—近況を—
—近況を—

春風を吹く日)
老人クラブ会員相互の親睦を図り、時にふれ話し合

先生の定期移動
大巾な人事の変更
▽転出、退職の部
(神土小学校)

②昨年に引きつづき桜の苗木五十本を購入、道端に会員で植える。
③さつきの鉢植えを育て開花時に持ち寄りみんなで觀賞する。
④俳句と歌の会で、題を「花」と定め四月十五日までに会員より募集老人のゆつたりした心を養う。

よい季節になりました。今日はめづらしいニュースをお知らせします。
こゝ数年來本村では食用觀賞用ともに養鯉がさかんになつてまいりました。これは動物性食糧資源としても、またやさしい情操を養う上からも結構なことおもいます。

さて、越原の私の家に古池があります。この池は徳川中期の越原家見取図に出ていますから、二三百年前に造られたものと思ひます。この池に「花子」と呼んでゐるヒ鯉がいます。亡くなつた祖母のげん、母春子も先祖からの鯉だから大

事にするように言つていたので、私も大事に養つて来ました。水に手を入れて花子、花子と呼ぶと、すぐやつて来て指先にまつわりついてはなれません。はて、先祖からとは言いながら花子の年令は正確に

「二百十四才の鯉の話」
越原公明

から二百十四年前は宝暦元年にあたり、有名な加賀騷動のあつた前の年です。それにしてもこのように長命できるということは、東白川の水が良いということとです。どうか、この良い水を呑み、きれいな空気を

花子をごらんになりたい方は、私の家の管理を依頼してゐるお向いの早瀬芳一氏、または今井久子さんに声をかけて下さい。よく説明申し上げます。

今井 透 東白川中から
中島義彦 川辺小から
山田隆夫 岐阜早鷺山小から
小沢光男 越原小から
大野定子 新採用
加藤洋子 (東白川中学校)

幾才だろう? ふところ考えて、先般花子の鱗を一枚はぎとりました。鯉の年令はうろこの年輪の数でつきりわかります。ついでに「三太」と呼ぶと、鯉は長生きで百年くらいとありますが、花子は超

四才、三太は百三十八才とわかりました。何と素晴らしい命ではありませんか。人間の寿命がはげかしくなり、魚類辞典を見る

調べて下さつた学者の話では、花子の年令は全国の鯉属中でも横綱格ではない

花ぞ希望の
初めなるらむ
宮杉は
何をか教へ
何をかささむ
(越原神社に詣でて)
吹く風はまだ寒けれど
空みれば
春を告げてか
かすみほの見ゆ

かとのこととす。
ではこんなめでたいご報告をして今日は失礼します今年もみなさんのお池の鯉がすくすくとひとなることを祈つています。

松波 墨 東白川中へ
熊沢栄造 退職(勸奨)
福田金次郎 坂ノ東小へ
高木善夫 不破管内へ
本田智栄子 安八管内へ
古田磯子 退職
今井 透 五加小へ
大倉法念 中部中学へ

齊藤邦彦 佐見中学へ
高橋千代子 伊奈波管内へ
▽転入、新採用の部
(神土小学校)
森 義文 美濃市長瀬小
五十川勝利 新採用
平光雅子
(越原小学校)
高島吾一 岐阜黒野小から
森 茂美 関瀬尻小から
林 節男 新採用
富成佐千子 (五加小学校)

今井 透 東白川中から
中島義彦 川辺小から
山田隆夫 岐阜早鷺山小から
小沢光男 越原小から
大野定子 新採用
加藤洋子 (東白川中学校)

「かげぼうし幻想」に奨励賞

青年団演劇発表終る

東白川青年学級では昭和三十九年度の東白川青年学級の学習活動の一環として、昨年末から研究を続けてきた演劇の成果を去る二月七日神田座に於いて発表しました。

この発表会には越原、神



(演劇発表会の一コマ)

土、五加の各教室から四つ三十九年度の東白川青年学級の劇が出演しましたが、三月月に互つて研究し、追求されただけあつてどの劇も突に上手にまとめ上げ、甲乙つけがたい熱演でしたが中央から依頼した審査員の舞台装置、演技、効果、演出等の厳正審査の結果、団体では神土教室Bプロックのみなさんによる「かげぼうし幻想」外一つが優秀賞に選ばれました。

また個人演技では、安江友子さん外五名が優秀演技者として選ばれ、盛会裡にその幕を閉じました。

当日の結果は次のとおり

◎団体の部

奨励賞 現代劇「かげぼうし幻想」神土B

努力賞 民話劇「水泥棒」五加分団

伸びゆく村長運動

今月は花の月です

花を愛する心は、すべてるために花作りを楽しみ村の愛につながるります。心を、家庭を、人の心を、花豊かにし、生活にゆとりをかざりましょう。

もち、おらかな愛を育て

◎個人演技賞

- 「地下水」の達治 新田 充(神土)
- 「深い疵」の少年 高木正範(越原)
- 「深い疵」のスヤ 桂川千文(越原)
- 「水泥棒」のおかつ 田口清子(五加)
- 「かげぼうし幻想」の秋子 大坪のり子(神土)
- 「かげぼうし幻想」の影 安江友子(神土)

39年度 交通事故の概況

産業経済の伸展に伴つて自動車、原動機付自転車が激増し、交通事情は日増に悪化し更に今年も国道四十一号線の拡張工事が完遂するので一層激化することが予想され、まことに憂慮すべき現況であります。

交通安全防止はいまや社会問題となり、中央においてもその対策が審議されており「交通戦争」とまで、いわれていることは周知のとおりであります。

特に今年も岐阜県体が開催されるので、事故をなくする運動が、強力に推進され毎月十五日は、交通事故ゼロ日と指定され、又東白川村では毎月五日を交通安全全日と定められて指導取締りが実施されていますので、運転者の方も歩行者の方もすべて、それぞれの立場となつており美濃加茂市、岐阜県下では

発生	七、五八三件
死者	二二二人
傷者	七、〇三九人

以上申し上げました交通事故の原因は、自動車の運転者、一般歩行者、幼児を保護する者等の不注意と、無免許運転、飲酒運転、速度違反(交通三悪)の交通道義を無視した無謀な運転によるものが殆んどで、不可抗力と思われる事故はありません。よつて交通事故を防止することは、運転者はもちろんですが、各自が交通規則と道義をよく守り正しく通行することが、最も大切であります。

加茂郡下では

発生	三三〇件
死者	一四人
重傷	七七人
軽傷	二一九人

となつております。又東白川村では

発生	七件
死者	二人
重傷	三人
軽傷	三人

となり、交通事故発生件数順位は(美濃加茂市、加茂郡下二十一住所別の内)第七位をしめるものであります。



今年も東白川中学から一四四名が巣立つた。このうち村に残る者は僅か三名だといふ。毎年百余名の卒業生が巣立つているが、そのほとんどが村外へ出て行き、あ者のリストを作り、農家へと五年位で村を離れるという四苦八苦の人口は四千人が割ること

そんな不安な所にまごまごしている青年の方がどうかしている。

こうした現状を憂慮して老人クラブが立上り、蹠探しをシムコ探しに近在に住む若者を出て行き、あ者のリストを作り、農家へと五年位で村を離れるという四苦八苦の人口は四千人が割ること

腰が曲り、白髪の老人がこんな真剣になつて立上るならなければならないという

後継者への教育が芽をふき出したことは喜ばしい。

しかし、この引止め策の中味が古めかしい郷土愛や犠牲的精神を説くようなもの本村ではまだ青年労働力が底をつくまでに至つていない。

青年だけでなく、一家を挙げて出て行くのも増え

群馬の一農村にもこの流出ブームに毒され、どんどんと他出してしまふ農家の後継者がなく敷いている姿が写された。たとえ僅かに青年が残つていとも、農家へ嫁いでくれる相手がない。

昨日テレビを観ていたら

他人事としてでなく、自他出してしまふ農家の後継者がなく敷いている姿が写された。たとえ僅かに青年が残つていとも、農家へ

青年だけでなく、一家を挙げて出て行くのも増え

後継者への教育が芽をふき出したことは喜ばしい。

しかし、この引止め策の中味が古めかしい郷土愛や犠牲的精神を説くようなもの本村ではまだ青年労働力が底をつくまでに至つていない。

青年だけでなく、一家を挙げて出て行くのも増え

後継者への教育が芽をふき出したことは喜ばしい。

しかし、この引止め策の中味が古めかしい郷土愛や犠牲的精神を説くようなもの本村ではまだ青年労働力が底をつくまでに至つていない。

青年だけでなく、一家を挙げて出て行くのも増え

車の乗り降りは順序よくしましょう

またお年寄りや子供をいたわり席をゆずつてあげましょう。